

# 茨木市 子ども・子育て支援に関する事業所アンケート

<幼稚園・認定こども園・保育所>

日頃より、本市教育・保育行政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

令和2(2020)年3月に策定した「茨木市次世代育成支援行動計画(第4期)」が令和6(2024)年度末で終了することから、こども基本法に基づく「こども計画」や子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者計画」を含めた、本市のこども・若者支援に関する施策を総合的・計画的に推進するための新たな計画となる「茨木市次世代育成支援行動計画(第5期)」を策定することとしています。

このたび、幼稚園・認定こども園・保育所を対象に、各施設の現状や今後の意向をうかがい、計画策定や今後の教育・保育施策の基礎資料とするためのアンケートを実施することになりました。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、個々の回答内容や貴施設名を公表することは一切ございません。

ご多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年10月 茨木市

## ■回答にあたってのお願い .....

- 回答は、本年4月1日現在の状況をご記入ください。
- 回答は、選択肢の中から当てはまる番号に○を付けてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合がありますので、質問文をよくお読みになりご回答ください。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をカッコ内にできるだけ具体的に書いてください。
- 回答が終わりましたら、記入漏れや記入間違い等がないか確認し、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに11月20日(月)までにポストに投函してください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

### 【お問い合わせ先】

調査内容に関すること：茨木市 こども育成部 保育幼稚園総務課  
電話：072-655-2753(直通)

調査全般に関すること：茨木市 こども育成部 こども政策課  
電話：072-620-1625(直通)

※受付時間：午前8時45分～午後5時15分(土・日・祝日除く)

## □最初に貴施設の基本情報をご記入ください。

①施設名称	
②施設区分(いずれかに○)	1 幼稚園      2 認定こども園      3 保育所
③運営主体(法人)の名称	
④園長・所長名	
⑤担当者(記入者)名	
⑥連絡先	(電話番号) (メールアドレス)

幼稚園は問1から、認定こども園・保育所は問5からお答えください。

## 1. 特定教育・保育施設への移行状況及び予定について

問1 特定教育・保育施設への移行について、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

- |   |                                    |       |
|---|------------------------------------|-------|
| 1 | すでに幼稚園（施設型給付）に移行済みである              | ⇒ 問2へ |
| 2 | 令和6年度以降、幼稚園（施設型給付）に移行する予定          | ⇒ 問3へ |
| 3 | 令和6年度以降、幼保連携型もしくは幼稚園型認定こども園に移行する予定 | ⇒ 問4へ |
| 4 | 現時点では移行しない予定                       | ⇒ 問5へ |
| 5 | 上記のいずれにも該当しない                      | ⇒ 問5へ |

【問1で「1　すでに幼稚園（施設型給付）に移行済みである」と回答した方にお伺いします。】

問2（1）1号認定利用定員及び実際の利用児童数をご記入ください。

1号認定利用定員	( ) 人	利用児童数	( ) 人
----------	-------	-------	-------

問2（2）預かり保育の実施状況について、実施の有無についてあてはまる番号に○をつけ、「1　実施中」の場合は、( ) に利用人数をご記入ください。

- |                           |                                      |
|---------------------------|--------------------------------------|
| 1                         | 実施中である（在園児又は非在園児に関わらず、利用人数をご記入ください。） |
| ⇒平日及び長期休業中の年間延べ利用児童数      | ( ) 人                                |
| ⇒長期休業中において8時間以上となる延べ利用児童数 | ( ) 人                                |
| ⇒休日の年間延べ利用児童数             | ( ) 人                                |
| 2                         | 実施していない                              |

⇒ 問5へ

【問1で「2　令和6年度以降、幼稚園（施設型給付）に移行する予定」と回答した方にお伺いします。】

問3（1）移行予定年度を教えてください。

- |   |  |   |             |
|---|--|---|-------------|
| 1 | 2024（令和6）年度                              | 2 | 2025（令和7）年度 |
| 3 | 2026（令和8）年度以降　⇒　予定が決まっていれば教えてください　( ) 年度 |   |             |

問3（2）1号認定利用定員は、何人程度を想定していますか。

1号定員	( ) 人
------	-------

問3（3）預かり保育を実施する予定はありますか。実施の有無についてあてはまる番号に○をつけ、「1　実施予定である」の場合は、( ) に想定する利用人数をご記入ください。

- |                           |                                       |
|---------------------------|---------------------------------------|
| 1                         | 実施予定である（在園児又は非在園児に関わらず、利用人数をご記入ください。） |
| ⇒平日及び長期休業中の年間延べ利用児童数      | ( ) 人                                 |
| ⇒長期休業中において8時間以上となる延べ利用児童数 | ( ) 人                                 |
| ⇒休日の年間延べ利用児童数             | ( ) 人                                 |
| 2                         | 実施する予定はない                             |

⇒ 問5へ

【問1で「3 令和6年度以降、認定こども園に移行する予定」と回答した方にお伺いします。】

問4（1）移行予定年度を教えてください。

1 2024（令和6）年度	2 2025（令和7）年度
3 2026（令和8）年度以降 ⇒ 予定が決まっていれば教えてください（ ）年度	

問4（2）教育標準時間認定子ども（1号定員）、保育認定子ども（2号・3号定員）に係る利用定員（予定）と利用児童数（予定）をご記入ください。

	利用定員	利用児童数
1号定員（3、4、5歳児）	人	人
2号定員（3、4、5歳児）	人	人
3号定員（0、1、2歳児）	人	人

問4（3）教育標準時間認定子ども（1号定員）に係る預かり保育を実施する予定はありますか。実施の有無についてあてはまる番号に○をつけ、「1 実施予定である」の場合は、（ ）に想定する利用人数をご記入ください。

1 実施予定である（在園児又は非在園児に関わらず、利用人数をご記入ください。）
⇒平日及び長期休業中の年間延べ利用児童数（ ）人
⇒長期休業中において8時間以上となる延べ利用児童数（ ）人
⇒休日の年間延べ利用児童数（ ）人
2 実施する予定はない

## 2. 配慮を要する児童の状況について

問5 0～5歳児の年齢ごとの配慮を要する児童に対応するための職員（加配保育士等職員）の職員数（実人数）を教えてください。

（保育所・認定こども園は令和5年4月1日時点 幼稚園は5月1日時点）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
保育士・幼稚園教諭	人	人	人	人	人	人	人
上記以外	人	人	人	人	人	人	人

問6 0～5歳児の年齢ごとの配慮を要する児童（加配保育士等職員を配置する必要がある児童）の利用人数を教えてください。

（保育所・認定こども園は令和5年4月1日時点 幼稚園は5月1日時点）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
利用人数	人	人	人	人	人	人	人

問7 配慮の内容ごとに児童の利用人数を記入してください。

不明の場合は「その他」に記入してください。(令和5年4月1日時点)

配慮の内容	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	情緒障害	その他
利用人数	人	人	人	人	人	人	人

※病弱…水頭症、酸素ボンベ、医療的ケア児等

情緒障害…自閉症、自閉傾向の児童

その他…多動などで他の項目に当てはまらない児童

### 3. 連携施設になることについての考え

小規模保育事業所等の連携施設になることについて、現時点での貴施設の意向をお答えください。  
(貴施設の運営主体が実施する小規模保育事業所等の連携施設になる場合を除きます。)

問8 小規模保育事業所等の連携施設になることについて、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

- |   |        |
|---|--------|
| 1 連携施設になってもよい<br>(既になっている場合は、さらに他事業所となってもよい)        | ⇒ 問9へ  |
| 2 連携施設になる予定はない<br>(既になっている場合で、さらに他事業所となる予定がない場合を含む) | ⇒ 問10へ |
| 3 未定・検討中  | ⇒ 問10へ |

【問8で「1 連携施設になってもよい」と回答した方にお伺いします。】

問9 連携施設として、連携協力が可能な項目はどれですか。(〇はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1 集団保育を体験させるための機会の設定、保育の適切な提供に必要な家庭的保育事業者等に対する相談、助言その他の保育の内容に関する支援を行うこと |
| 2 必要に応じて代替保育を提供すること   |
| 3 利用乳幼児を、保育の終了に際して、保護者の希望に基づき、引き続き当該連携施設において受け入れて教育又は保育を提供すること          |
| 4 その他 ( )   |

⇒ 問11へ

【問8で「2 連携施設になる予定はない」「3 未定・検討中」と回答した方にお伺いします。】

問10 連携施設になるにあたっての懸案事項は何ですか。(〇はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1 連携施設について、実際の具体的な連携内容がわからない                          |
| 2 小規模保育事業所等の保育方針がわからないため、連携施設になることに不安がある              |
| 3 特定の小規模保育事業等の連携施設になることに、在園児の保護者の理解を得られるか不安である        |
| 4 連携施設になることで、小規模保育事業等の保育全般に関係していると誤解されないか不安である        |
| 5 連携施設になると事務負担が増えるのではないかと不安である                        |
| 6 小規模保育事業所等と児童の年齢が異なるため、集団保育の提供の具体的な連携のイメージがわからない     |
| 7 3歳児以降の受け入れを連携した場合、日頃関わりのない小規模保育事業所の児童を受け入れることに不安がある |
| 8 小規模保育事業所等と開所日・時間が異なるため、現実的に3歳児以降の受け入れをすることができない     |
| 9 卒園児を受け入れるための3歳児クラスの利用定員に余裕がない                       |
| 10 その他 ( )  |

## 4. 保育士等職員（保育士資格・幼稚園教諭免許を所持する職員）の確保状況

問 11 職員の過不足感について教えてください。（○は1つ）

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1 適当 ⇒ 問 13 へ | 2 やや不足 ⇒ 問 12 へ   |
| 3 不足 ⇒ 問 12 へ | 4 おおいに不足 ⇒ 問 12 へ |

【問 11 で「2 やや不足」「3 不足」「4 おおいに不足」と回答した方にお伺いします。】

問 12 職員が不足している理由として考えられることは何ですか。（○はいくつでも）

- |                            |
|----------------------------|
| 1 経営的に余裕がないため、雇用できない       |
| 2 募集しても応募がない               |
| 3 応募はあるが、マッチングが難しく、採用に至らない |
| 4 離職率が高い                   |
| 5 その他（ ）                   |

問 13 貴施設において過去5年間の内、職場環境に関わる事柄での離職理由としてあてはまるものをお答えください。（○はいくつでも）

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1 業務量が多い          | 2 休暇取得が困難    |
| 3 労働時間が長い         | 4 給料が安い      |
| 5 職員数が少ない         | 6 雇用形態への不満   |
| 7 保護者対応等への心労      | 8 パソコン操作の複雑化 |
| 9 将来への不安（昇給・昇進）   | 10 人間関係への不満  |
| 11 責任の重さ、事故への不安   | 12 相談体制の未整備  |
| 13 職員の教育・研修体制への不満 | 14 その他（ ）    |

問 14 貴施設において過去5年間の内、職員自身に関わる事柄での離職理由としてあてはまるものをお答えください。（○はいくつでも）

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 家庭との両立が困難 | 2 健康面・体力面  |
| 3 定年・契約満了   | 4 他業種への興味  |
| 5 転居・配偶者の意向 | 6 家族の介護・看護 |
| 7 結婚・出産・育児  | 8 その他（ ）   |

問 15 現在どのような雇用形態及び勤務形態の職員を求めていますか。雇用形態及び勤務形態の該当する数字を表にご記入ください。（上位3つ）

【雇用形態】

- 1 正規職員
- 2 有期契約職員（フルタイム）
- 3 有期契約職員（パートタイム）

【勤務形態】

- 1 常勤職員
- 2 早番・遅番の対応が可能な職員
- 3 休業代用職員（産休、育休など）
- 4 担任補助・加配職員
- 5 正規職員の休日代行職員
- 6 その他（ ）

	雇用 形態		勤務 形態	
1 番		として		を採用したい
2 番		として		を採用したい
3 番		として		を採用したい



問 20 (2) 潜在保育士等の求人活動の採用結果 (採用したか) をお答えください。(○は1つ)

1 採用した

2 採用しなかった ⇒ 問 22 へ

【問 20 (2) で「1 採用した」と回答した方にお伺いします。】

問 21 (1) 雇用した潜在保育士等の雇用形態についてお答えください。(○はいくつでも)

1 正規職員

2 有期契約職員 (パートタイム)

3 有期契約職員 (フルタイム)

問 21 (2) 今年度、雇用した潜在保育士等の年代について、人数をご記入ください。

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	その他	計
雇用人数	人	人	人	人	人	人	人

【問 19 で「2 いいえ」または問 20 (2) で「2 採用しなかった」と回答した方にお伺いします。】

問 22 潜在保育士等を雇用しない (またはできない) 理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 人員が足りている

2 経営的な余裕がない

3 自施設に雇用するための制度・体制がない

4 雇用に向けた財政支援 (補助金がない)

5 求人したいがノウハウがない

6 雇用のための合同説明会等就職コーディネートの支援がない

7 求人募集をしたが、応募がなかった

8 求人募集をし、応募はあったが、自施設が求める職員ではなく、採用とならなかった

9 採用となったが、採用辞退の申し出を受けた

10 その他 ( )

## 7. 潜在保育士等職員に対する意見・考え

問 23 潜在保育士等を採用するメリットとして考えられるものは何ですか。(○は3つまで)

1 保育士等の経験がある

2 他業種での社会人経験がある

3 子育て経験がある

4 社会性と一般常識に優れている

5 モラルと倫理をわきまえている

6 コミュニケーション能力に長けている

7 即戦力として期待できる

8 シフトが組みやすくなる

9 保育等の質が向上する

10 経営効率が上がる

11 施設の雰囲気が変わる

12 その他 ( )

問 24 潜在保育士等を採用するデメリットとして考えられるものは何ですか。(○は3つまで)

1 保育士等の経験がない

2 過去の保育士等の経験が障害になる

3 保育等に関する最新の知識・情報不足

4 社会性と一般常識に欠けている

5 モラルと倫理がわきまえられていない

6 即戦力として期待できない

7 シフトが組みにくい

8 保育等の質が低下する

9 経営効率が下がる

10 施設の雰囲気が変わる

11 その他 ( )

問 25 潜在保育士等が保育士等として就業しない理由として考えられることは何だと思いますか。  
(○はいくつでも)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 家庭との両立が困難（子育て・介護等） | 2 自身の健康問題       |
| 3 他の職種への興味           | 4 自分への適正・能力への不安 |
| 5 近い将来、結婚、出産を控えている   | 6 人間関係への不満      |
| 7 雇用者側の都合（施設の閉園等）    | 8 雇用条件への不満      |
| 9 教育・研修体制への不満        | 10 理念・方針への不満    |
| 11 将来への不安（昇給・昇進）     | 12 責任の重さ・事故への不安 |
| 13 I T化についていけない      | 14 その他（ ）       |

## 8. 保育士等の確保策について

問 26 今後、保育士等を確保するにあたって効果があると思う（または実際に行っている）工夫は何ですか。(○は3つまで)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 給与水準の引き上げ                 |
| 2 勤務時間に対する柔軟な対応             |
| 3 雇用形態に対する柔軟な対応             |
| 4 就業のための実務研修制度              |
| 5 信頼関係の構築(保育士等に対する積極的なサポート) |
| 6 相談窓口の設置                   |
| 7 キャリアアップの仕組み               |
| 8 その他（ ）                    |

問 27 今後、求人雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(○はいくつでも)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 新卒採用を対象にした就職説明会の開催          |
| 2 再就職及び転職意向のある方を対象にした就職説明会の開催 |
| 3 就職・転職・再就職のマッチングの実施          |
| 4 保育士等の就労情報を専門に扱うホームページの開設    |
| 5 潜在保育士等を対象にした再就職に向けた研修等の実施   |
| 6 就職個別相談窓口の設置                 |
| 7 給与水準を引き上げるための補助金、給付金等       |
| 8 その他（ ）                      |

問 28 貴施設において、保育士等の働きやすい職場環境、雰囲気作りのためにどのようなことに取り組んでいますか。(○はいくつでも)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 休暇の取りやすい雰囲気作り         |
| 2 悩みや困ったことがある時に相談できる仕組み |
| 3 その他（ ）                |
| 4 特に取り組んでいない            |

ご協力ありがとうございました。